



検体希釈液が共通になりました

キットの中身を確認しましょう

ラピッドテスト® ノロ



- ① 検体希釈液 (10本)
- ② 試験管立て (1個)
- ③ 検体濾過フィルター (10個)

ラピッドテスト® ロターアデノII



- ④ テストデバイス (10個) (アルミ個包装)
- ⑤ 滅菌綿棒 (10本)

検査の前に用意しましょう



手袋



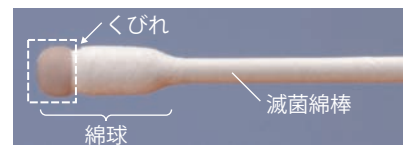
タイマー



感染性廃棄物
処理用ごみ箱

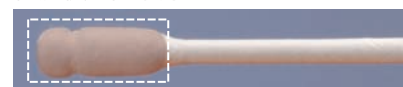
検体採取方法

① 排泄便の採取方法



綿球のくびれより先を軽く覆う程度、
検体を採取します(約30mg)。

② 直腸便の採取方法



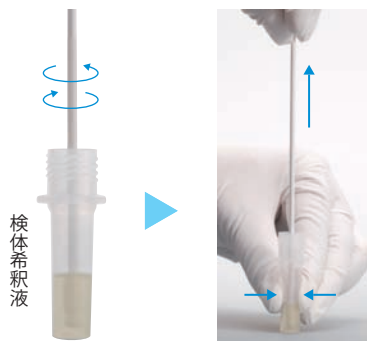
患者肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しな
がら挿入し検体を採取します(100mg)。

1 検体希釈液容器の蓋を開けます。



検体希釈液

2 糞便を採取した綿棒を入れて内壁に沿って5回以上回転させ検体を抽出します。抽出後、容器をつまみ綿球内の検体を搾り出します。



3 検体を抽出した検体希釈液の容器に検体濾過フィルターを取り付けます。



4 テストデバイスをアルミ包装から取り出し、試料5滴を試料滴下部に滴下します。



注意

検体が過剰の場合、検体濾過フィルターが詰まることがあります。無理に滴下せず、検体を採取し直してください。

※ロターアデノIIの操作方法も同様です。

5 テストデバイス上の判定窓に現れる赤紫色のラインで判定します。

●ラピッドテスト® ノロの場合

～15分後に結果を判定します。

ノロウイルス陽性の場合



●ラピッドテスト® ロターアデノIIの場合

～10分後に結果を判定します。

ロタウイルス陽性の場合



※判定に関する注意点を裏面に記載していますのでご確認ください。

糞便中のノロウイルス抗原の検出用

ラピッドテスト ノロ

糞便中のロタウイルス抗原及びアデノウイルス抗原の検出用

ラピッドテスト ロターアデノII

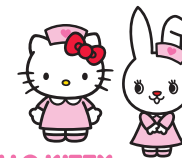
ノロウイルス抗原キット

[体外診断用医薬品] 承認番号22800EZ00075000

ロタウイルスキット、アデノウイルスキット

[体外診断用医薬品] 承認番号22700AMX00616000

測定結果の判定法



SEKISUI

HELLO KITTY
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.G 604397 ラピッドちゃん®

キット名	陽性	陰性	無効	
ラピッドテスト ノロ	ノロウイルス陽性 ノロウイルステスト部位 コントロール部位	ノロウイルス陰性 	CONT部位にラインが認められない場合 	反応膜全体が赤紫色に着色し、CONT部位のラインが確認できない場合
	ロタウイルス陽性 ロタウイルステスト部位 コントロール部位	ロタウイルス・アデノウイルス陰性 	CONT部位にラインが認められない場合 	反応膜全体が赤紫色に着色し、CONT部位のラインが確認できない場合
ラピッドテスト ロターアデノII	アデノウイルス陽性 アデノウイルステスト部位	ロタウイルス・アデノウイルス陽性 	ラピッドテストノロ 結果判定の注意点 判定時間 ~15分 15分より前に陽性ラインとコントロールラインが認められた場合は、その時点で陽性判定可能です。 ※陽性ラインが認められない場合は15分まで静置してから判定してください。	ラピッドテストロターアデノII 結果判定の注意点 判定時間 ~10分 10分より前に陽性ラインとコントロールラインが認められた場合は、その時点で陽性判定可能です。 ※陽性ラインが認められない場合は10分まで静置してから判定してください。 ※10分以内に一方の陽性ラインが認められた場合でも、もう一方の感染を否定するものではありません。

よくあるご質問

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Q: 検体を5滴より多く滴下してしまいました。測定結果に影響はないでしょうか？</p> | <p>A: 検体の滴下数が多過ぎた場合、試料がうまく展開できず、ラインが出ない現象が起こる可能性があります。コントロールラインが出ていれば測定に問題はありません。また逆に検体の滴下数が少ない場合は、試料が十分展開せず、コントロールラインが出なくなる場合があります。この場合は検査無効となりますので再検査を行ってください。</p> |
| <p>Q: コントロールラインができません。どうすればよいでしょうか？</p> | <p>A: 検体の滴下速度が速すぎたり、滴下量が多過ぎた場合、試料が正常に展開できず、コントロールラインが出ない又は遅くなる場合があります。検体の滴下はゆっくりと、5滴滴下してください。</p> |
| <p>Q: 15分※で判定した時はラインが見えなかったのですが、しばらくすると陽性ラインが出ていました。陽性と判定してよいでしょうか？ ※ロターアデノIIの場合は10分</p> | <p>A: 反応してから長時間経過すると、テストデバイスの乾燥や、検体の逆流または反応色の退色により結果が変化する可能性がございますので反応時間をお守りください。なお、30分以上経過した場合、判定域に不均一なラインが出現する場合がありますが、抗原抗体反応とは無関係の場合がありますので、この時点での判定は無効となります。</p> |
| <p>Q: 結果が無効の場合はどう対処すべきでしょうか？</p> | <p>A: もう一度検体を採取して別のテストデバイスで再検査を行ってください。</p> |

キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

「ラピッドテスト」は積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。

製造販売元 **積水メディカル株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【お問合せ先】 コールセンター：0120-249-977

<http://www.sekisuimedical.jp/>

RN-002
0320 D I 50
2019-0125